

2017 年に岩木健康増進プロジェクト健診に参加された 当時 65 歳以上の皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 一般地域住民における口腔機能低下と手指巧緻動作の関連

研究の目的

超高齢社会である我が国において、健康寿命の延伸は重要な課題です。特に認知症はご本人に限らず、ご家族や日本全体の介護の問題に重要な疾患です。

認知機能は手指巧緻性（物を運ぶ、文章を書く、料理をするなど、日常生活において重要な動作が自身のイメージ通り行えること）と関連していることや、手指巧緻性を改善するトレーニングで認知機能が向上することがこれまでに報告されています。それに加えて、口腔機能の低下が認知機能に影響を与える事が分かってきています。

今回の研究では認知機能に関連する手指巧緻動作と口腔機能低下症の関連を検討することで、認知症と口腔機能の関連に更なるエビデンスを積み重ねることを目的としています。

研究実施期間： 実施許可日～2026年3月31日

対象となる方： 2017年に岩木健康増進プロジェクト健診に参加された方

利用させていただきたい試料・情報について

（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）

以下の情報を研究責任者である田村好弘の責任の下、標記研究課題実施のために弘前大学内で利用します。

.....
先行研究「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発(承認番号:2021-030,2018-012)」において 2017 年に取得された下記のデータ。

個人調査票（Personal ID、性別、年齢）

既往歴

体組成（身長、体重、BMI）

MMSE（認知機能検査 27 点以下で軽度認知障害 23 点以下を認知症疑いと判定）

ペグボード（30 秒間右手、30 秒間左手、30 秒間両手）

歯科データ（歯数、歯周病、う蝕、舌圧、パタカ、アイヒナー分類）

.....
具体的には舌圧とパタカの数値を用いて口腔機能低下をスコア化します。スコアに応じて口腔機能低下群と健常群に分けて手指巧緻動作（ペグボード）に差があるか比較します。手指巧緻動作は上半身の運動でもありますので、関係しそうな因子（年齢、性別、BMI

や既往歴)を考慮して追加で検討する予定です。

なお、本研究で利用する情報は、先行研究「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発(承認番号:2020-046-4,2020-046-1,2020-046-5,2021-166-3,2023-007-1)」で収集し、加工(氏名、住所および生年月日と切り離し、照合のための符号・番号を付与)され、岩木データベースに登録された情報です。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。そのため、本研究により個人に還元する臨床的意義のある結果は得られないため、個別の結果については原則としてお答えできません。

研究への利用に同意いただけない場合には、「情報利用提供停止願い」をご提出ください。受領後、その方の試料・情報を対象から除外します。ただし、ご連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない方/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

本件連絡先	弘前大学大学院医学研究科 歯科口腔外科学講座 助教・田村 好弘 住所：〒036-8562 弘前市在府町 5 電話：0172-39-5127 Email：tam4416@hirosaki-u.ac.jp
情報利用停止願送付先	弘前大学大学院医学研究科附属健康・医療データサイエンス 研究センター 医療データ解析学講座 教授 玉田 嘉紀 住所 〒036-8562 弘前市在府町 5 電話：0172-39-5037(代表) FAX：0172-39-5205

2024.4.22